

安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 03. 2024

製品: Col. 9® 1200

バージョン: 4.0

(30751290/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

1. 化学品及び会社情報

品名:

Col. 9® 1200

用途: 原材料, 工業的用途のみに使用のこと。

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

皮膚感作性: 区分1

水生環境有害性 短期(急性): 区分3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分3

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 03. 2024
製品: Col. 9® 1200

バージョン: 4.0

(30751290/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

注意喚起語:
警告

危険有害性情報:

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H402 水生生物に有害。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き（安全対策）:

P280 保護手袋を着用すること。
P261 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
P273 環境への放出を避けること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

注意書き（応急措置）:

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き（廃棄）:

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄
処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

非結晶シリカ

記載の物質に基づくポリマー:

分散剤:

GHS分類に寄与する成分

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 03. 2024
製品: Col. 9® 1200

バージョン: 4.0

(30751290/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物

含有量 (W/W): < 30 PPM

CAS番号: 55965-84-9

化審法: (9)-378 and (5)-5235

労働安全衛生法: (9)-378 and
(5)-5235

急性毒性: 区分 3 (経口)

急性毒性: 区分 2 (吸入-ミスト)

急性毒性: 区分 2 (経皮)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 1C

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

皮膚感作性: 区分 1A

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 100

M-ファクター慢性: 100

メタノール

含有量 (W/W): < 0.2 %

CAS番号: 67-56-1

化審法: (2)-201

労働安全衛生法: (2)-201

引火性液体: 区分 2

急性毒性: 区分 3 (吸入-蒸気)

急性毒性: 区分 3 (経口)

急性毒性: 区分 3 (経皮)

特定標的臓器毒性 (単回暴露) (中枢神経系, 視神経): 区分 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項: 有害性は予想されない。

処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
噴霧水, 粉末, 泡, 二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:
有害性は特になし。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
データなし。

[追加情報]:
汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。製品自体は非可燃性であるが、周辺の消火方法に留意すること。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
保護具を着用する。皮膚および眼との接触を避けること。

[環境に対する注意事項]:
未処理で河川等に流さないこと。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する (例: 砂、おが屑、珪藻土)。法令に従って吸着剤を廃棄すること。
大量の場合: ポンプで容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。長期保管後、ごく少量の一酸化炭素が発生する可能性がある。我々の知りうる限りでは、使用中に職業曝露限度 (OEL) を超えることはない。タンクへの入槽は、意図した清掃後で、残留蒸気が除去されたことを確認した時のみ行なうこと。密閉空間への入槽に関する国の法律を遵守し、国際的標準を考慮すること。懸念のある場合には、一酸化炭素濃度を測定すること。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 凍結しないように保護して保管すること。

次の温度以下にならないように保護すること: 5 ° C

次の温度以上にならないように保護すること: 60 ° C

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

メタノール, 67-56-1;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 200 ppm (ACGIHTLV)

STEL (short term exposure limit : 短時間 250 ppm (ACGIHTLV)

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 200 ppm (労働安全衛生法 (JP))

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 260 mg/m³ ; 200 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

経皮吸収の表示 (日本産業衛生学会 許容濃度)

本物質は皮膚を通して吸収される。

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性

経皮吸収の表示 (ACGIHTLV)

経皮吸収の危険性

非晶質シリカ, 7631-86-9;

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 0.025 mg/m³ (労働安全衛生法 (JP)),
粉塵

暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0 / [1.19 * (\% \text{ 遊離シリカ}) + 1]$ から計算される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 10 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入可能粒子

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 3 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入性粒子

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 1 mg/m³ (日本産業衛生学会 許容濃度), 吸入性粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 4 mg/m³ (日本産業衛生学会 許容濃度), 総粉塵

【保護具】

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること) : ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

補足: 仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため (温度など)、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。所定の保護具に加えて、上下一体型作業衣の着用が必要である。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。皮膚および眼との接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 液体, 分散系
色: 白色
臭い: ほぼ無臭
臭いのしきい値: 測定されていない。

pH: 9.0 – 10.0 (DIN ISO 976)

記載物質に関する情報: 水

融点: 0 °C

記載物質に関する情報: 水

沸点: 100 °C

引火点:

適用せず

可燃性 (固体/ガス): 引火性ではない。

爆発下限界:

分類と表示に関連しない液体に関するものである。

爆発上限界:

分類と表示に関連しない液体に関するものである。

自然発火温度:

適用せず

熱分解: 正しく使用すれば、分解しない。

自己発火性: 自己発火性なし。

自己発熱性: 自己発熱性物質ではない。

爆発危険有害事項: 爆発性なし。

火災を引き起こす性質: 火災伝播性はない。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 03. 2024
製品: Col. 9® 1200

バージョン: 4.0

(30751290/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

記載物質に関する情報: 水

蒸気圧: 23.4 hPa
(20 ° C)
文献データ

密度: 約 1.15 g/cm³ (ISO 2811-1)
(20 ° C)

相対密度: データなし。

相対ガス密度 (空気): 適用せず

水に対する溶解性: 一部可溶
(15 ° C)

水混合性: 混合可

n - オクタノール/水分分配係数 (log Pow): 適用せず

粘度: 10 - 100 mPa.s (DIN EN ISO 3219)
(23 ° C, 250 1/s)

固形分: 44.0 - 46.0 % (DIN EN ISO 3251)

その他の情報:

粒子サイズの範囲: < 0.1 µm - 10 µm

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
極限温度を避けること。

熱分解: 正しく使用すれば、分解しない。

[混触危険物質]:
避けるべき物質はなし。

[危険有害な分解生成物]:
通常の取扱い条件下で危険反応なし。長期保管後、ごく少量の一酸化炭素が発生する可能性がある。

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:
製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 – 10,000 mg/kg

急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

本品が皮膚に付着している場合、乾燥時に刺激が起こることがある。

眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性／刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚と接触すると感作を引き起こす恐れがある。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類に対して変異原性を示さなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

発がん性

発がん性の評価:

評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

生殖毒性を起こさないと考えられる（組成に基づく）。

発生毒性

催奇形性の評価:

発生毒性について、この物質の効果に関する評価の有効なデータは、適切な評価に充分ではない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

動物試験において、反復吸入曝露後、有害影響は観察されなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

誤えん有害性

適用せず

その他該当する毒性情報

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。本記述は、類似組成を持つ製品に基づくものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対し急性の有害性がある。長期継続的影響によって水生生物に有害。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

魚類に対する毒性:

LC50（半数致死濃度）(96 h) > 10 – 100 mg/l, 魚

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

水生無脊椎動物:

LC50（半数致死濃度）(48 h), ミジンコ属

測定されていない。

水生植物:

EC50 (72 h), 藻類

測定されていない。

微生物/活性汚泥への影響:

EC50 (0.5 h), バクテリア
測定されていない。

魚類に対する慢性毒性:
データなし。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
データなし。

陸生生物に対する毒性の評価:
陸生生物に対する毒性についてのデータは得られていない。

移動性

環境区分間の輸送評価:
データなし。

残留性・分解性

除去情報:
> 70 % DOC減少 (OECDテストガイドライン302B、ISO 9888、88) 水から容易に除去することができる。

生体蓄積性

生体蓄積性:
構造的特性から、ポリマーは生物学的に利用可能ではなく、生体蓄積性はないと考えられる。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン (AOX):
データなし。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。
欧州廃棄物リスト (European waste catalog : EWC) による廃棄物コードを指定することは不可能である。使用法により廃棄物コードは異なる。
国のまたは地方の法定事項に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない 非該当
品名 (国連輸送名):	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス):	非該当
容器等級:	非該当

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 03. 2024
製品: Col. 9® 1200

バージョン: 4.0

(30751290/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日: 22.10.2025

環境有害性: 非該当
使用者への特別注意事項 知見なし

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当
海洋汚染物質: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable
Marine pollutant: no

Special precautions for user None known

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable

Special precautions for user None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法: 非危険物

α -スルホ- ω -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のアルキル(C=12-14)エーテルのナトリウム塩
化審法
優先評価化学物質
< 1.0 %

メタノール
労働安全衛生法
通知対象物

その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。